

CEF2019 デモカークラス 課題曲(ジャズ:長谷川 圭)

■ステレオサウンド REFERENCE RECORD 第10集:ドイツ・グラモフォン・ベスト・レコーディング

■映画「グレイテスト・ショーマン」サウンドトラック

<課題曲の聴きどころ>

ドイツ・グラモフォン・ベスト・レコーディング

全帯域におけるサウンドバランスと、ホールトーン、サウンドステージなどを確認します。

各楽器のハーモニーが美しく表現されているか、音数の多い楽曲では個々の音が明瞭に聴こえるか、演奏の音量の大小にかかわらずバランスよく聴こえるか、演奏されているホールの響きを感じられるかに注意して聴きます。

「グレイテスト・ショーマン」サウンドトラック

2018年にヒットしたミュージカル映画のサウンドトラック。ヴォーカルの声の質感がどのように再生されるか、楽曲によっては音像の定位がどのように再生されるかを聴きます。

デモカークラスのジャズということなので、エントリーされる車両には“推しポイント”がわかるようにしていただきたく願います。

お客様にデモンストレーションするための車両かと思えます。

クルマのどの部分を聴かせたい(見せたい)のかがわかるとジャズしやすいです。

そのため、“このクルマで聴かせたい1曲”があるならば、ぜひ聴かせていただきたいと思えます。

どうぞよろしくお願いいたします。